

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

ナナカマドが人々に赤色の実を燈しています。
収穫の秋を皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
「かおる通信」44号をお届けします。
四季を節々に年4回発行しています。
ご愛読賜れば幸いです。

旭川市議会議員

笠木かおる



激励パーティに650人。感謝してがんばります



8月20日、旭川ターミナルホテルで開いていただいた「笠木かおる君を囲むビールパーティ」に今年も650名を越える皆さんにご出席をいただきました。夜分にもかかわらず足を運んでいただいた皆さまの表情に大きなパワーと励ましを頂戴しました。

私は「地域や職場でがんばる市民に学び、爪に灯をともすように暮らす庶民の目線で議員活動に邁進します」と決意を述べさせていただきました。厳しい時代ですが、旭川の産業経済構造基盤がもっと力強くなるように、そして誰もがみんな安心して暮らすことのできる街になるように、自分なりに精一杯の努力を続けていきます。

景気雇用対策で5億円の補正予算



旭川市はこのほど、生活道路・側溝整備事業費に4億円、高齢者住宅のリフォーム補助金に1億円の計5億円の補正予算を組みました。

これは、副次的な景気雇用対策にもねらいがあり、私も「真に必要な公共事業は前倒ししても早急に補正予算を組むことが大切」と主張してきました。

まだまだ道路修繕等の遅れが続いているが引き続き努力をしていきます。また、リフォームの補助金申請はすでに始まっていますので、希望があれば市の都市建築部まで申し込んでください。



小学校の学芸会



9月28日、10月5日の両日、地元小学校の学芸会が一斉に開催され顔を出しました。しかし、日時が重なるためご案内をいただきながら出席できない学校や、出席できても短時間で失礼することに残念な思いがします。

写真は愛宕小学校の学芸会。とても元気よく、素晴らしい表情でみんなが「個性ある主役」を演じていました。

午前の部・午後の部でパークゴルフ大会を楽しみました

8回目をかぞえる「笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会」が9月6日、パークランド嵐山を開かれました。

今年から、プレーの進行をよくするため午前の部と午後の部の2回にわけて開催。天候にも恵まれ300名以上の皆さんに楽しんでいただきました。次回も是非多くの皆さんのが参加をお待ちしています。なお、優勝者は次の通りでした。



【午前の部優勝者】

男子 渡辺末人さん (スコア 95) 女子 山口恵美子さん (スコア 103)

【午後の部優勝者】

男子 本田良吉さん (スコア 88) 女子 荒田栄子さん (スコア 103)

「第3小学校体育館の床を改修してください」



千代田市民委員会（杉下政秀会長）と9月12日、旭川市教育委員会に対し市立第3小学校体育館の床を早期に改修されるよう要望しました。同体育館の床の損傷は著しく、児童が手や足にトゲを刺すことも心配されていました。

塗料やワックスでは対応しきれず、来年に改修工事を行う予定になりました。



「三浦庭園」の今後のあり方を要望。



旭山を活かす街づくり市民の会（二川チエ子会長）と東旭川中央地区市民委員会（井田友三会長）は9月22日、西川市長に対し「三浦庭園」の今後のあり方について要望書を提出しました。

「三浦庭園」は旭山公園内に位置する旭川を代表する庭園。現在は旭山動物園と同庭園が金網で分断されている状態で、せっかくの財産を動物園に開放できるかが長年の課題となっています。

総合防災センターがオープン

東光第2運動公園（東光27条8丁目）に総合防災センターが開設しました。

これに先立ち8月30日、地元の千代田地区・東部東光地区両市民委員会の皆さんに見学していただきました。

防災センターには600m²の多目的ホールや会議室・和室も整備され、平時には無料で市民開放されますので是非ご利用ください。また、救急車や消防車も配備され火災や緊急患者の元へ今より早く到着できるようになります。



平成19年度決算が認定されました。

第3回定例会終る

旭川市議会の第3回定例会は9月16日に開会し10月10日までの25日間の会期で開かれました。

今議会は、平成19年度旭川市会計の決算審査などが主な議題でしたが、同決算は賛成多数で認定されました。

私は、決算審査特別委員会で、産業経済構造基盤の確立の観点から企業立地・誘致の取り組み状況と食品加工研究機能の整備について質疑にたちました。

以下、その要旨を報告します。



旭川工業団地の拡張整備を。

(笠木)旭川工業団地の拡張整備に向け「需要度調査」を行ったが、その結果をどう分析されているか。

(答弁)市内180箇所の未利用地で1箇所以上の箇所は2箇所しかなく大規模な企業立地に即応できる環境はない。また、具体的な利用用地を提示しなければ道外企業の設備投資計画を把握することは難しい。市内企業14社が規模拡張計画をもっている。

(笠木)企業立地・誘致の受け皿となる旭川工業団地第4期造成が必要ではないか。

(答弁)今後の企業折衝では、第4期造成を念頭におき誘致活動をすすめる。また、市内企業の工場増設計画もあることから、工業団地の拡張が求められている。

(笠木)どのような手法で工業団地の拡張整備を行う考えか。

(答弁)リース制度やオーダーメード分譲の仕組みに向けての検討が必要と考えている。



【解説】市内の製造品出荷額は現在、約1800億円で、この10年間に約1000億円減少しました。

これを高めることができが旭川の経済基盤を強くするため大変重要となっています。

道外企業の製造業誘致は過去12年間ゼロの状態で、地場企業の支援とともに企業誘致活動も強く求められています。その受け皿となる工業団地がなければ実際、企業誘致に結びつくことは難しく、第4期工業団地の早期の造成計画が望まれています。

旭川食品産業支援センター、年内設置へ。

(笠木)食品加工研究所の整備に向け検討がすすめられてきたが、まず出来ること、必要とされていることからすすめることが大切だ。食品産業支援センターの開設はいつ行うのか。

(答弁)年内にも設置をすすめたい。

(笠木)同センターではどのような事業からはじめるのか。

(答弁)食品加工に関する総合相談窓口の開設と試験分析の受託からはじめたい。

(笠木)体制はどうなるか。

(答弁)様々な関係機関とネットワークを図り一体化した支援体制をつくる。事務局は旭川市産業振興課におき、センター長には元日本ハム工場の役員で食品加工に深い知識と経験をお持ちの方にお願いしている。

【解説】食品加工研究所の整備は西川市長の重要公約の一つです。研究所機能の整備には様々な困難がありますが、「できることからはじめる」との判断にたち同センターの開設に至りました。食品加工関係者に「使いやすい・便利だ」と評価いただける運営をめざしています。

第6回共生園まつり



特別養護老人ホーム・身体障害者療護施設「共生園」の第6回共生園まつりが8月2日に開かれました。

今年は当麻町出身、元祖のまね寅さんの原一平さんやヨサコイソーラン全国準優勝の「北の大地」などがゲスト出演してくれました。

あいにくの雨模様で屋内でのまつりとなりましたが、原一平さんの「人情芸」に利用者は盛んな拍手をおくっていました。



盆踊り



今年も8月、地域の盆踊りが多彩に開かれ、私も太鼓の音色に誘われて楽しみました。

盆踊りは500年以上の昔から伝わる日本を代表する民俗芸能。昔の民衆は何を歌い、何を思って踊ったのか想像するのも楽しいものです。きっと普段いえない思いを歌や踊りで表現していたのでしょうか。

写真は東旭川屯田公園での一コマ(8月17日)です。



敬老会



ご長寿を心からお祝いする地域の敬老会に今年も参加させていただきました。旭川市の敬老祝い金も廃止されるなど高齢者にとって厳しいことばかり続いていますが、「今までご苦労された分、楽しい人生で長生きしてください」とごあいさつさせていただきました。

千代田地区敬老会(9月7日開催)では森田武元市民委員会会長などと生まれてはじめて着物姿で日本舞踊?を踊りました。写真はその練習の一コマです。



8月10日、発信ランド桜岡で「第2回おふくろの味・甲子園」が開かれました。神村武JA東旭川農協組合長らの手作りで行われているものです。発信ランドから見る夕日などは「天下一品」。是非、足をはこんでみてください。

笠木かおるプロフィール

- 昭和32年 東旭川で水田農家の次男として生まれる。
- 昭和50年 道立旭川商業高等学校卒業。(サッカーチームFWで全道大会活躍)
- 汽車が好きで旭川鉄道管理局入社。
- 平成11年 「約束をしっかりと守ること。たとえ小さなことに対しても一生懸命に努力すること」を公約に、旭川市議会議員に初当選。(3114票・30位当選)
- 平成15年 旭川市議会議員再選。建設公営企業常任委員長。(5169票・2位当選)
- 平成19年 旭川市議会議員再選。議会運営委員長。(6433票・2位当選)
- 主な活動 社会福祉法人旭川共生会常務理事
旭川市パークゴルフ協会顧問
- 好きな作家 司馬遼太郎 ●趣味 お香をたくこと。
- 好きな言葉 夢はでっかく。根は深く。(相田みつを)
- 家族 長女夫婦と孫2人の5人暮らし。次女は市内で独身生活。

